



沖縄県議会議員

すべては沖縄のために

社大党

沖縄社会大衆党

ズケラン長風

議会・活動報告だより

風にのせて

特別号

【2024年12月】

あなたと政治の
架け橋に



これからも瑞慶覧長風の政治の歩みを力強くお支え頂き、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

3世代で平和つなぐ

瑞慶覧長風 当山勝利 平良識子

県議会会派 「沖縄社会大衆党」を結成

長風一本！

県議選挙スナップ写真



頼もしい同級生たち！



力強く支えていただいた大里支部の皆さん



いつも明るい南風原支部！



金城榮幸 元東風平町長と



南風原支部結成式 10代若者のガンバロー！



佐知城の結束！



総決起大会 約 300 人が参加しました



小中学生からも「長風頑張れ！」



玉城デニー知事と



勝利へ「長風一本!!」



鳩山由紀夫 元内閣総理大臣も
応援に駆けつけていただきました



宮城尚子議員、仲間光枝議員からのたすき掛け



同級生マツチヨのガンバロー！



県議会6月定例会 初質問



記者のメモ



米で直訴 知事に求める

○…県議会一般質問で米兵による相次ぐ女性暴行事件を受けて「知事は早期に訪米し、この問題を直接訴えていただきたい」と求めた瑞慶覧長風氏（社大、島尻・南城市区）。少女誘拐暴行事件の初公判があった日も多くの米兵が繁華街に繰り出した現状を報じた本紙ルポを取り上げ「事件に対する対応はむしろ後退している。非常に問題だ」。知事も早期に訪米し、米国政府に申し入れを行うと答弁。県ワシントン事務所の活動をSNSで発信することも提起し、初の一般質問を締めくくった。

2024.7.24 沖縄タイムス社 掲載▲



6月

県主催「若者が考える基地と沖縄」シンポジウムに参加



7月

医療的ケア児支援の地域連携ハブ拠点「Kukuru+」視察と家族会の皆様との意見交換会を実施



東京、外務省外交史料館へ琉球国国際三条約（琉米、琉仏、琉蘭修好条約）原本を視察。琉球国が国際法の主体として主権国家であることを示す重要文書の沖縄返還へ、社大党で取り組んで参ります。



7月



7月

海ごみ対策の先進地、神奈川県「かながわ海岸美化財団」を視察



8月

与那原大綱編み上げ作業に参加。与那原大綱曳まつりにも来賓として参加させて頂きました。



一般質問（初質問）

令和6年6月議会 瑞慶覧長風一般質問（抜粋）

米軍人による性的暴行事件について

米側から謝罪も無ければ事件後の外出規制など実質的な対応もされていない。本来より厳格にならないといけないう凶悪事件への対応が、過去と比べむしろ後退しているという異常な状態に対し、知事は早期に訪米し米国に直接訴えて頂きたい。

知事 玉城デニー

年内の早い時期に私が訪米をして、関係要路に対して強く申し入れて参りたい。

台風等自然災害時の医療的ケア児への支援拡充について

生活福祉部長 北島智子

福祉避難所の速やかな開設と電源確保など環境の充実について市町村担当者会議等を積極的に行って支援していきたい。

保健医療介護部長 糸数 公

停電時の家庭での電源確保のためのバッテリー等貸与事業について、申請者全てに貸与ができていない状況がある。今後も予算拡充に向けて調整をしていきたい。

沖縄県パートナーシップ制度導入に向けて



静岡県を参考に SOGI の観点から性別、性的指向、性自認を問わず、事実婚の異性カップルも対象にすることや、子どもも含めたファミリーシップ制度となることを提案する。

こども未来部長 真鳥裕茂

議員ご提案のファミリーシップ制度などについて、市町村との連絡会議や有識者を集めた検討会議の中で、先行自治体の事例も踏まえながら議論して参りたい。

農林水産物条件不利性解消事業について

県外出荷に係る輸送費の補助単価が畜産物においては令和4年度からkgあたり5円となり、4分の1に減額されている。原油高により負担は増す一方であり、制度の見直し、改善を要望する。

農林水産部長 前門尚美

令和6年度において、輸送コストに関する実勢運賃の調査を踏まえ、令和7年度当初予算に反映するための作業に着手して参ります。

その他の質問

- 困窮世帯乳幼児へのミルク、ベビー用品等支援体制の拡充について
- 災害時対策として与那原町東浜水路におけるしゅんせつ工事の対応について
- 南部東道路事業における用地取得完了に向けた取り組みについて
- コストコオープンに伴う県道の交通渋滞対策について

6月議会
一般質問議会中継



質問内容を動画で確認

代表質問

令和6年9月議会 瑞慶覧長風 社大党会派代表質問（抜粋）



沖縄鉄軌道計画とフィーダー交通整備について



国との調整へ、県の新たな費用便益比等の試算をいつまでに実施するか。

また、フィーダー交通導入可能性調査において那覇市の LRT 整備計画とも連携しながら、与那原—那覇、糸満—八重瀬—那覇線など元々の県営軽便鉄道ルートの導入についても検討頂きたい。

企画部長 武田 真

鉄軌道について構想段階から事業化判断を行う計画段階へ移行させるため、現在行っている調査検討の結果を用いて令和7年度以降に新たな費用便益比の再算定を行う。地域公共交通の充実へ、南部市町村の皆様とも協議会を活用し議論をさせて頂きたい。



不登校児童・保護者支援について

教育機会確保法やこども基本法にも基づきさらなる支援拡充を求める。全国平均2倍以上と子どもの相対的貧困率の高い沖縄においても、フリースクール等民間施設の利用料補助は当然必要だと考えるがどうか。

教育長 半嶺 満

現在県教育委員会でフリースクール等民間施設利用状況など実態把握に向けた調査を実施し取りまとめをしている。今後その調査結果や他県の状況等も踏まえて研究して参りたい。



9月議会代表質問
与那国花織のかりゆしを着用

9月議会
代表質問議会中継

質問内容を動画で確認



「出席扱い、成績反映可能」
県教育長 フリースクール通学で

県教育委員会の半嶺満教育長は3日の県議会9月定例会の代表質問で、フリースクールに通う児童生徒が高校受験などの際、出席や成績の面で不利益を受ける事例があることに関連し「文部科学省の通知で一定の条件を満たした場合、出席扱いとすることや、成果を成績に反映できると示されている」と述べ、各学校への周知を進める考えを示した。瑞慶覧長風氏（社大）への答弁。

県教委によると「一定の条件」とは、学校と民間施設の間で十分な連携が取れていることなどが挙げられる。文科省はこれまでに複数の通知を出している。

半嶺教育長は「引き続き文科省の通知を各学校に発出する。管理職研修会や市町村との連絡協議会などを通して、不登校の児童生徒の出席扱いについて理解を深め、児童生徒の努力の成果が適切に評価されるよう努める」と述べた。

1日にフリースクールなど20団体が設立した協議会との連携についても言及し、「その関係機関との連携のあり方もしっかりと研究し、今後進めていきたい」と前向きな姿勢を示した。

フリースクールの利用

県教委は、市町村教委などに共有してきたという。

料補助は現在、条件を満たした生徒に通学費を支援しているという「費用の支援のあり方については、他県の実施状況などを踏まえて研究していく」と説明した。

（外間愛也）

2024.10.4 琉球新報社 掲載 ▲

瑞慶覧長風の代表質問が
新聞記事に掲載されました。



珊瑚舎スコーレにて
公立学校外での教育支援について意見交換



与那国町の離島振興・環境保全と首長との対話について

与那国町では自衛隊配備以降も地場産業の衰退は進み、元の町民や子どもの数も減少、一方で町長は軍拡の推進に邁進する状況に対し、住民からは未来への希望が見いだせないという悲痛な声が上がっている。町の自立ビジョンを基に、台湾との直接航路実現や租納港の早期改修、地域の民主主義の回復へ向けた知事と首長や地域住民との対話を求める。

企画部長 武田 真

航路や航空路の開設へ、町から特区の活用についても御相談があれば県としても必要な支援をやっていきたい。

副知事 池田竹州

租納港の必要な改築について、きちんと予算が確保できるよう取り組んでいく。

知事 玉城デニー

平和構築の観点からの積極的な協力については惜しみなく取り組んでいく。



9月に与那国町を訪問。町議会議長や教育長を始め、住民の皆さんとも意見交換をさせて頂きました。



包括的性教育の推進と若者の心と体の支援拡充について

若年妊娠比率が全国平均2倍以上と突出する沖縄県において、国際的な指針である健康・人権教育としての「包括的性教育」の推進や今後の相談支援の取り組みについて伺う。

こども未来部長 真鳥裕茂

子どもたちが将来について考え、責任ある人生の選択を行うには人権等を含めた性や妊娠に関する正しい知識を身につけることが重要だと考えている。

現在、県内のユースクリニックがこども未来応援成事業という形で助成を受けながら活動しているが、最大3年までの不安定な事業なので今後の支援の在り方を安定的なものに繋がるよう検討して参りたい。

その他の質問

- 生成 AI 導入など県庁における DX 推進の現状課題と今後の対応について
- 地域外交の推進について（取り組みと成果、経済波及効果の数値化）
- 与那国町樽舞湿原や比川沖リーフトンネル等の保全について
- 教職員の業務負担軽減について（全国学テの自校採点・入力業務の見直し等）
- ひとり親家庭医療費助成事業について（償還払から現物給付への改訂を）
- 健康長寿県復興に向けた取り組みについて（若手組織 GSCO との継続的な連携を）
- 本島北部地域私宅監置遺構の保存・活用について（日本で現存する唯一の遺構）

議員活動②



記者のメモ

豪雨被災地で苦境実感

○…豪雨に見舞われた大宜味村の養鶏場を24日に視察した瑞慶覧長風県議(社大、島尻・南城市区)。鶏舎への浸水で約2万6千羽が死ぬ被害を受け、飼料代も高騰する中で苦境に立たされている現状を目の当たりにした。翌25日に県執行部から報告を受けたが、支援に関する説明はなかったと不満顔。実家がサボテン農園を営んでいることもあり「大切に育てたものが一瞬で奪われるショックはいかばかりか。離農を防ぎ、食料自給率を高めていく上でも手厚い支援が必要だ」と息巻く。

2024.11.28 沖縄タイムス社 掲載 ▲

沖縄県議会議員 **ズケラン長風** 会派「沖縄社会大衆党」

土木環境委員会・沖縄振興・公共交通ネットワーク特別委員会所属

議会・活動報告だより
風にのせて 特別号
【2024年12月】

【県議会連絡先】
那覇市泉崎 1-2-3 内部資料
TEL. 098-866-2755 (社大党)
発行: ズケラン長風後援会
南城市大里字仲間 1136-3



SNS で最新情報発信中!



こちらから
フォローを
お願いします